

2 履修モデル

卒業後のキャリアを意識した履修ができるよう4つの履修モデルを設定していますので参考にしてください。また、将来の職業選択には、キャリアデザイン入門(配当年次2年)、キャリアデザイン(配当年次3年)を履修することを推奨します。

履修モデル①【地域を支える一般企業・公的団体への就職を目指す】

(1)履修モデルの趣旨

この履修モデルは、地元企業の営業、事務、総合職、調査・企画部門等の他、公務員、社会福祉関係等の非営利団体、NPO職員などへの就職を目指す学生に向けたものです。

(2)履修計画・推奨科目

現代社会系科目を中心に履修することにより、社会、地域、政治、経済、国際関係などの現代社会の仕組みや地域社会をはじめ、自己を取り巻く環境の諸問題を学び、社会現象の本質を認識し、問題解決策を探索できるような市民力を養成していくことを目標としています。

【学びのテーマ】

「現代の諸相を見る」
現代社会系科目を中心に履修することにより、社会・地域・政治・国際関係・環境など、現代社会の仕組みや課題を理解する。



【身につく市民力】

社会現象の本質を認識し、問題解決策を主体的に探求できる力



【卒業後のキャリア】

地元企業の営業職、事務職、総合職、調査・企画担当、公務員、社会福祉関係等の非営利団体職員、NPO職員として活躍

区分			1年次		2年次		3年次		4年次		
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
基盤教育	社会生活に必要なリテラシー	言語スキル科目	第二外国語1(1)	第二外国語2(1)	コミュニケーション英語実践 (Speaking)(1) コミュニケーション英語実践(Writing)(1)						
		情報スキル科目									
		健康スキル	スポーツ健康論(2)								
	学問の基礎知識	人文の理解	倫理学Ⅰ(2)	倫理学Ⅱ(2)							
		社会の理解	政治学Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2)	経済と社会(2)	経済の歴史(2)					
		自然の理解	統計学(2)	数理統計学(2)	データサイエンス(2)						
専門教育	専門基礎	現代社会系			社会思想論(2)	現代の地域行政(2)	文化学概論(2)		比較社会論(2)		
		人間文化系			健康スポーツ科学(2)	認知心理学(2)					
		異文化系									
		コミュニケーション系			コミュニケーションの基礎(2) 人間関係論(2)						
		専門基礎実践			地域と社会(2) 地域連携講座(2)						
	現代社会と人間文化系	現代社会系			現代日本の社会と経済(2) 現代アジアの社会と経済(2)		地域と福祉(2)	現代世界の政治経済と法(2)	環境と社会Ⅰ(2)	環境と社会Ⅱ(2)	
							公共政策と政府の役割(2) NPO・NGO概論(2)	国際関係論(2)			
		人間文化系					地域と政策(2)				
							科学哲学(2)	社会思想史(2)	日本史と現代(2)	社会規範と市民(2)	
	異文化とコミュニケーション	異文化系					ヨーロッパの社会と文化(2) 中国の社会と文化(2)				
		コミュニケーション系					情報社会と倫理(2)	ダイバーシティ論(2)	産業心理学(2)		
	ゼミナール	ゼミナール	○基礎演習 (4)		○専門基礎演習 (4)		○専門応用演習 (4)		○卒業論文・卒業研究 (4)		

注1)○は必修科目。その他は選択必修科目または選択科目。注2)科目の後ろにある()内の数は単位数です。

履修モデル②【教育・学習支援業、企業の人材育成部門への就職を目指す】

(1) 履修モデルの趣旨

この履修モデルは、学校等の一般事務職、社会教育施設や学習塾等の職員（事務・運営スタッフ・教材開発支援）、教育活動支援を行うNPO職員などへの就職を目指す学生に向けたものです。

(2) 履修計画・推奨科目

人間文化系科目を中心に履修することにより、哲学・倫理・思想・宗教・芸術・文学・歴史など、さまざまな人間文化を修得することで、物事の善悪や社会規範、自己規律を体得した教養力を備えた人材の養成を目標としています。

【学びのテーマ】

「人間の文化活動を探究する」
人間文化系科目を中心に履修することにより、哲学・倫理・思想・宗教・芸術・文学・歴史など、人文学の叡智を修得する。



【身につく市民力】

多角的に人間の叡智とその本質を理解し、社会において自己を活かす力



【卒業後のキャリア】

学校等の一般事務職、教育活動支援を行うNPO 団体等の職員、社会教育施設や学習塾等の職員（事務・運営スタッフ・教材開発支援）として活躍

区分			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
			第 1 セメスター	第 2 セメスター	第 3 セメスター	第 4 セメスター	第 5 セメスター	第 6 セメスター	第 7 セメスター	第 8 セメスター
基盤教育	社会生活に必要なリテラシー	言語スキル科目	第二外国語 1（1）	第二外国語 2（1）	第二外国語 3（1）	第二外国語 4（1）	英語会話（1）	英語会話実践（1）		
		情報スキル科目			情報処理論（2）					
		健康スキル	スポーツ健康論（2）							
	学問の基礎知識	人文の理解	哲学概論（2）	哲学と市民社会（2）	心理学概論（2）	青年の心理（2）				
		社会の理解	社会学Ⅰ（2）	選挙と政治（2）						
		自然の理解	データサイエンス（2） 数理統計学（2）							
専門教育	専門基礎	現代社会系			社会学Ⅱ（2）					
		人間文化系			発達心理学（2） 認知心理学（2）					
		異文化系					文化人類学（2） 比較文化論（2）			
		コミュニケーション系			コミュニケーションの基礎（2） 人間科学（2）					
		専門基礎実践			ボランティア学（2） 地域ボランティア実践（2）					
	現代社会と人間文化系	現代社会系					地域と福祉（2）		NPO・NGO概論（2）	
		人間文化系			世界史と現代（2） 現代社会と宗教（2）		道徳と教育（2） 社会規範と市民（2）		中国思想論（2） キリスト教の思想（2）	
	異文化とコミュニケーション	異文化系			異文化コミュニケーション論（2） スポーツとコーチング（2）		英米文学基礎論（2） 英米文学実践論（2）		ヨーロッパの社会と文化（2） 中国の社会と文化（2）	
					家族社会学（2） ダイバーシティ論（2）					
		コミュニケーション系								
ゼミナール	ゼミナール	○基礎演習（4）		○専門基礎演習（4）		○専門応用演習（4）		○卒業論文・卒業研究（4）		

注 1) ○は必修科目。その他は選択必修科目または選択科目。注 2) 科目の後ろにある () 内の数は単位数です。

履修モデル③【旅行・運輸業界、企業の流通部門でグローバルに活躍する就職を目指す】

(1) 履修モデルの趣旨

この履修モデルは、海外で事業展開する国内企業の営業や事務職、旅行会社のツアーコンダクター、運輸・流通関連会社での貿易事務などへの就職を目指す学生に向けたものです。

(2) 履修計画・推奨科目

異文化系科目を中心に履修することにより、ヨーロッパ、中国、中東、イスラム、スラヴなど異文化社会を理解し、自分と異なる考え方を持つ人々と共生し、諸外国と日本の関係など現代社会の課題を解決する市民力を養うことを目標としています。

【学びのテーマ】

「世界の中の日本を見出す」
異文化系科目を中心に履修することにより、ヨーロッパ・中国・中東・イスラム・スラヴなど、異文化社会の実相と多文化共生を学ぶ。



【身につく市民力】

自分と異なる考えをもつ人々と共生し、地球規模で生じている様々な課題を解決する力



【卒業後のキャリア】

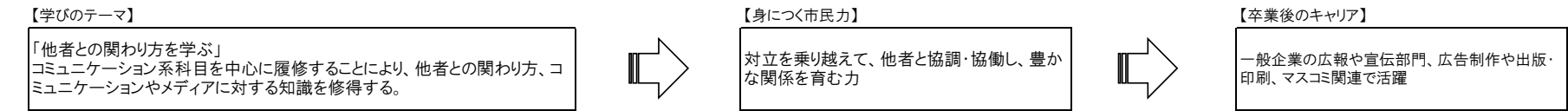
グローバル企業、海外で事業展開する国内企業の営業職や事務職、旅行会社の企画担当、ツアーコンダクター、運輸・流通関連会社での貿易事務担当として活躍

区分			1年次		2年次		3年次		4年次	
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
基盤教育	社会生活に必要なリテラシー	言語スキル科目	第二外国語1(1)	第二外国語2(1)	第二外国語3(1)	第二外国語4(1)	英語会話(1)	英語会話実践(1)		
		情報スキル科目								
		健康スキル	ストレスマネジメント(2)							
	学問の基礎知識	人文の理解	日本史(前近代)(2)	日本史(近現代)(2)	歴史学(世界史)Ⅰ(2)	歴史学(世界史)Ⅱ(2)				
		社会の理解	経済と社会(2)	経済の歴史(2)						
自然の理解		データサイエンス(2)	自然環境論(2)							
専門教育	専門基礎	現代社会系			流通と消費者(2)	現代の地域行政(2)	文化人類学(2)		比較文化論(2)	
		人間文化系			宗教学(2)	現代思想論(2)				
		異文化系								
		コミュニケーション系			コミュニケーションの基礎(2) 人間関係論(2)					
		専門基礎実践			異文化社会研修基礎講座(2) 異文化社会現地研修(2)					
	現代社会と人間文化系	現代社会系					国際関係論(2)	現代アジアの社会と経済(2)	現代社会の流通システム(2) ネット社会の流通(2)	
		人間文化系					世界史と現代(2)	キリスト教の思想(2)	比較文学(2)	
	異文化とコミュニケーション	異文化系			ヨーロッパの社会と文化(2) 中国の社会と文化(2)		中東の社会と文化(2)	イスラムの社会と文化(2)	スラヴの社会と文化(2) 宗教文化とツーリズム(2)	
		コミュニケーション系			異文化コミュニケーション論(2)		情報社会と倫理(2)	ダイバーシティ論(2)	ビジネスコミュニケーション論(2) 情報表現とコミュニケーション(2)	
	ゼミナール	ゼミナール	○基礎演習 (4)		○専門基礎演習 (4)		○専門応用演習 (4)		○卒業論文・卒業研究 (4)	

注1)○は必修科目。その他は選択必修科目または選択科目。注2)科目の後ろにある()内の数は単位数です。

履修モデル④【広告・出版・マスコミ業界、企業の広報・宣伝部門への就職を目指す】

- (1)履修モデルの趣旨
この履修モデルは、一般企業の広報や宣伝部門、広告制作や出版・印刷、マスコミ関連業界などへの就職を目指す学生に向けたものです。
- (2)履修計画・推奨科目
コミュニケーション系科目を中心に履修することにより、他者との関わり方を学び、豊かな人間関係を育むためコミュニケーションや情報、メディアに対する理解を深め、市民力を高めていくことを目標としています。



区分			1年次		2年次		3年次		4年次		
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
基盤教育	社会生活に必要なリテラシー	言語スキル科目	第二外国語1(1)	第二外国語2(1)	コミュニケーション英語実践 (Speaking)(1) コミュニケーション英語実践(Writing)(1)						
		情報スキル科目		情報処理論(2)	情報表現論(2)						
		健康スキル	スポーツ健康論(2)	メンタルヘルスとセルフケア(2)							
	学問の基礎知識	人文の理解	倫理学Ⅰ(2)	倫理学Ⅱ(2)							
		社会の理解	社会学Ⅰ(2)	選挙と政治(2)							
		自然の理解			データサイエンス(2)	自然環境論(2)					
専門教育	専門基礎	現代社会系			現代社会論(2)	社会学Ⅱ(2)					
		人間文化系			発達心理学(2)	認知心理学(2)					
		異文化系					日本文化論(2)	比較文化論(2)			
		コミュニケーション系			メディア文化論(2)	マスコミュニケーション論(2)					
		専門基礎実践			外国文化研究Ⅰ(2)	外国文化研究Ⅱ(2)					
	現代社会と人間文化系	現代社会系					国際関係論(2)	現代世界の政治経済と法(2)	日本史と現代(2) 我孫子と文学(2)		
		人間文化系					世界史と現代(2)	日本文学基礎論(2)			日本文学実践論(2)
							日本思想論(2)				
	異文化とコミュニケーション	異文化系			国際文化論(2)	都市文化論(2)	ヨーロッパの社会と文化(2) 中国の社会と文化(2)		スラヴの社会と文化(2)	イスラムの社会と文化(2)	
		コミュニケーション系			情報社会と倫理(2)		異文化コミュニケーション論(2) メディアコミュニケーション論(2)	産業心理学(2)	情報表現とコミュニケーション(2)		
ゼミナール		ゼミナール	○基礎演習 (4)		○専門基礎演習 (4)		○専門応用演習 (4)		○卒業論文・卒業研究 (4)		

注1)○は必修科目。その他は選択必修科目または選択科目。注2)科目の後ろにある()内の数は単位数です。